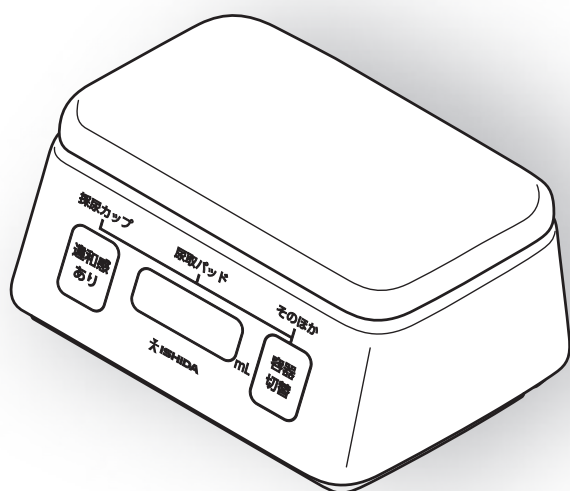


排尿日誌自動記録システム

ウロダイアリー チェッカー



取扱説明書

- 本製品の設置、操作および保守・点検を行うため、この説明書をよく読んでください。
- この説明書はいつでも調べられるように大切に保管してください。

イシダメディカル株式会社

はじめに

このたびは弊社製品「ウロダイアリーチェッカー」（以降、「本製品」と記載）をご購入いただき、誠にありがとうございます。

ご使用にあたっては、本書並びに電子化された添付文書をよくお読みください。

電子化された添付文書は、製品本体および個装箱に貼付されたラベルに記載されているバーコード（GS1-128形式、GS1 データマトリックス形式）を、スマートフォンやタブレットなどにインストールした専用アプリで読み込むことにより閲覧いただけます。

紙媒体での添付文書をご所望の場合は、弊社までご連絡ください。

本製品には、IEC60601-1 および JIS T0601-1 で定義される基本性能はありません。

おねがい

- 本書の内容を無断で転載することを固くお断りします。
- 製品の改良などにより、本書の内容に一部、製品と合致しない箇所の生じる場合があります。ご了承ください。
- 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 万全を期して本書を作成していますが、内容に関して、万一間違いやお気づきの点がございましたら、ご連絡いただきますようお願い申し上げます。
- 乱丁本、落丁本の場合はお取り替えします。最寄りの弊社販売店までご連絡ください。
- 機器、システムの本体トラブルについては、個々のメンテナンス契約に準じた対応をさせていただきますが、本体トラブルによる作業ストップなどの副次的トラブルについては、その責任を負いかねますのでご了承ください。

重要なお知らせ

製品の用途について

- 本製品は、容器等に採尿された排尿量とその日時および排尿時の違和感の有無を記録します。
- 尿量計測は、ひずみゲージ式ロードセルを用いた質量計測方式で行います。
- 本製品は、病院内での使用と在宅での使用を意図しております。

安全について

- ご使用の前に、「1 安全上のご注意」を必ずお読みください。
本製品を安全に取り扱うための重要な注意事項が記載されています。

商標、著作権について

- 本書に掲載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。
- 本書等にはインダメディカル株式会社の秘密情報が含まれており、弊社が本書等の一切の著作権を保有しています。秘密情報を第三者に開示したり、本書等を無断で複製・複写することは、全部であるか一部であるかを問わず、弊社の事前の書類による承諾が必要です。
- 弊社は、本書等および本製品に関するノウハウを独占的に保有しています。
弊社は、本書等に定められた条件および範囲で、かつ、本製品を使用・維持する目的に限り、ノウハウを使用する譲渡不可・非独占的な使用权を承諾します。
- Bluetooth ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。

分解・改造について

- 本製品の分解、改造、および組み込まれているソフトウェアの改作は絶対に行わないでください。
お客様による分解、改造、改作が行われた場合、弊社は一切の責任を負いません。

廃棄について

- 本製品および使用済みの乾電池を廃棄する場合は、自治体の条例に従って廃棄処分してください。

情報セキュリティについて

- 本製品に関わる情報のセキュリティについては、お客様の自己責任の上で管理、運用をしてください。
- Bluetooth 通信を使用して本製品を外部接続する場合は、本質的にセキュリティに対する脆弱性を伴います。
使用環境に応じた情報セキュリティ対策、および情報漏洩の保護措置を講じることはお客様の責任となりますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の使用環境および使用目的において、他の医療情報システムや一般情報システムとの接続や情報のやり取りを行う場合、その情報システムのセキュリティ管理者、および責任者と本製品の運用について合意を得てください。

目次

はじめに

重要なお知らせ I

製品の用途について I

安全について I

商標、著作権について I

分解・改造について I

廃棄について I

情報セキュリティについて I

目次 II

1 安全上のご注意 1

表示の意味 1

シグナルワードについて 1

その他のお知らせ 1

禁止事項／遵守事項 2

2 機能について 4

各部の名称と機能 4

ウロダイアリーチェッカー（本体） 4

ウロダイアリーチェッカー専用バーコード
リーダー（オプション） 5

3 ウロダイアリー チェッカーの準備 6

物品を確認する 6

付属品 6

オプション（別売） 6

ウロダイアリーチェッカーを設置する 7

専用 AC アダプターで使用する 7

乾電池で使用する 8

4 初期情報の登録 9

容器重量を登録する 9

患者ごとの容器重量を登録する
（専用バーコードリーダー使用） 9

特定の容器重量を登録する
（専用バーコードリーダー不使用） 11

5 計測 12

計測する 12

患者 ID と紐付けて計測する
（専用バーコードリーダー使用） 12

本体のみで計測する
（専用バーコードリーダー不使用） 14

6 お手入れと点検 15

使用後のお手入れ（清掃） 15

使用可能な消毒液 15

日常の清掃 16

汚れがひどい場合 16

保管上の注意 18

保管条件 18

定期点検 19

メンテナンスモード 20

7 運用（院内・在宅）に ついて 21

院内で使用する場合 21

在宅で使用する場合 21

貸し出し時の点検と説明 22

使用前の点検 22

8 困ったときは 23

故障かな？と思ったときは 23

エラーコード一覧 23

9 仕様 24

一般仕様 24

EMC 技術仕様 25

EMC（電磁両立性）とは 25

EMC（電磁両立性）に係わる技術的な説明 25

医療機器の類別・一般的名称 28

シンボル 29

表示の意味

シグナルワードについて

本製品および取扱説明書には、使用者や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しく使用できるように、重要な情報を記載しています。

次の表示・図記号をよく理解してから、本書をお読みになり、記載事項をお守りください。

表 示	説 明
 警 告	記載されていることを守らない場合、死亡または重傷を負う可能性がある潜在的に危険な状況を示しています。
禁忌・禁止	本製品の性能を超える使用、または本製品の不適正使用により、死亡または重傷を負う可能性がある絶対に行ってはいけない行為を示します。
 注 意	記載されていることを守らない場合、軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される状況を示しています。
! 注 記	記載されていることを守らない場合、本製品の故障や物的損害を引き起こす状況が想定される状況を示しています。

その他のお知らせ

記 号	説 明
 メモ	知っておくと便利な機能や参考情報などを示しています。
	本書に関連する情報があるとき、参照先を示しています。

禁止事項／遵守事項



＜電源について＞

- ・ 必ず付属の専用 AC アダプターを使用してください。指定外の AC アダプターを使用した場合、火災や感電により、重大な損害を負う危険があります。
- ・ 専用 AC アダプターが破損している場合は、使用しないでください。そのまま使用すると、火災により、重大な障害を負う危険があります。
- ・ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電により、重大な傷害を負う危険があります。
- ・ 以下の状態を発見した時はすぐに専用 AC アダプターをコンセントから抜き、乾電池が入っている場合は乾電池を抜いて、弊社またはご購入先の販売業者までご連絡ください。異常な状態のまま使用を続けると、感電や火災により、重大な障害を負う危険があります。
 - － 異音がする
 - － 異臭がする
 - － 本体から煙が出ている

禁忌・禁止

本製品の性能を超える使用、または本製品の不適正使用により、死亡または重傷を負う可能性がある絶対に行ってはいけない行為を示します。

- ・ 可燃性麻酔ガス、活性ガスおよび高濃度酸素雰囲気内では、本製品を使用しないでください。爆発や火災により重大な損害を負う危険があります。
- ・ 高圧酸素療法装置に本製品を持ち込まないでください。誤動作、破損、爆発により重大な危険を負う危険があります。
- ・ 本製品を長期間使用しないときには、乾電池を取り外してください。乾電池の液漏れが起こり、目や皮膚に付着した場合は障害を負う危険があります。

＜ウロダイアリーチェッカー専用バーコードリーダーに関する注意＞

- ・ 読取り窓の光を肉眼で近くから見ないでください。強い光が出るため、眼に障害を起こす危険があります。



＜使用方法に関する注意＞

- ・ 在宅において使用する場合は、医師、医療従事者から使用方法の説明を受けた方が使用してください。

＜乾電池に関する注意＞

- ・ 新しい乾電池と使用済みの乾電池、種類の違う乾電池を同時に使用しないでください。液漏れや発熱、破裂などにより本機の故障やけがの恐れがあります。
- ・ 乾電池の交換はプラス、マイナスの向きを本製品の表示の向きに合わせて、マイナス側から入れてください。乾電池の向きを間違えると、液漏れや発熱、破裂などにより本機の故障やけがの恐れがあります。

！注記

＜併用に関する注意＞

- 電磁波および高周波を発生する機器（除細動器、電気メスなど）の近くでは使用しないでください。誤作動や故障の原因になります。

＜固定・設置に関する注意＞

- 本製品は、質量計測方式にて尿量の測定を行います。正確に測定するために以下のような場所では使用しないでください。
 - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く
 - エアコンなどの風が直接当たる場所
 - 温度変化の激しい場所
 - 不安定な設置台

＜使用方法に関する注意＞

- 本製品は精密機器のため、床への落下、強くぶつけるなどによる衝撃が加えられた場合はそのまま使用しないでください。

＜防水について＞

- 本製品は、コネクタ接続部に防水キャップを取り付け、かつ乾電池カバーをロック（閉）した状態において、IPX5^(※)の防水性能が保証されます。
- 完全防水ではないため、勢いのある水を直接かけたり、水の中に沈めたりしないでください。内部に水が入り、火災や感電、故障の原因になる恐れがあります。
- ゴムパッキンの表面に傷や破損がある、ごみが付着している、といった状態で使用すると、防水性能を保持できなくなります。
※：IPX5 とは、「あらゆる方向からの水（真水と水道水のみ）の噴流水を受けても製品の機能を保護する」ものです。

＜Bluetooth について＞

- 本製品は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は必要ありません。ただし、本製品を分解、改造したり、本製品に貼っている証明ラベルをはがすと、法律で罰せられることがあります。
- 日本国内のみで使用してください。国外に持ち出した場合、各国の電波法に抵触する可能性があります。

＜IT ネットワーク接続に関する注意＞

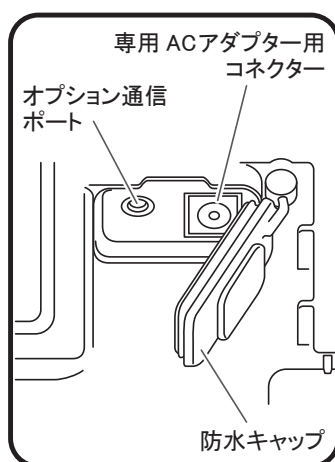
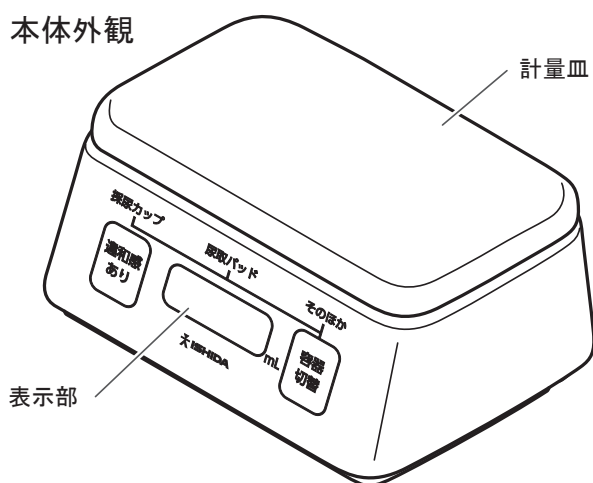
- 本製品を IT ネットワークへ接続することで、患者、操作者または第三者に対して事前に特定していなかった受容できないリスクを生じる可能性があります。責任部門はこれらのリスクを特定、分析、評価および管理をしてください。
IT ネットワークを後から変更した場合は、新たなリスクを招く恐れがあります。IT ネットワークの変更には以下を含めます。
 - IT ネットワーク構成における変更
 - IT ネットワークへの追加アイテムの接続
 - IT ネットワークからのアイテムの取り外し
 - IT ネットワークに接続された機器のアップデート
 - IT ネットワークに接続された機器のアップグレード

各部の名称と機能

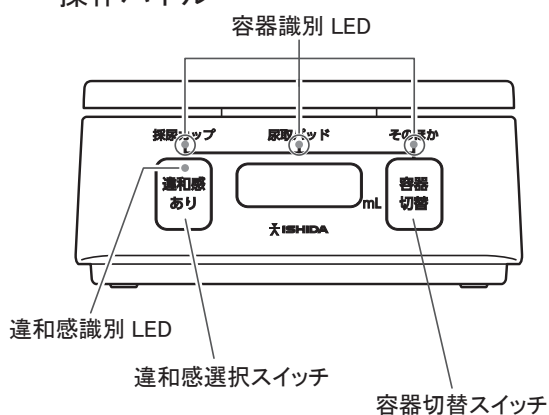
本製品は、容器（採尿カップ、尿取りパッド等）に採られた尿量を測定し、患者ごとのデータとして本製品内に記録することができます。記録されたデータは、専用アプリで読み取ることで、カルテへの記録などに使用できます。

ウロダイアリーチェッカー（本体）

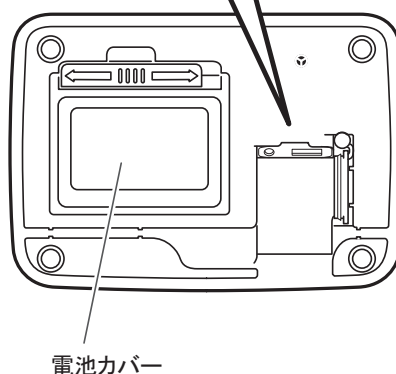
本体外観



操作パネル



本体底面

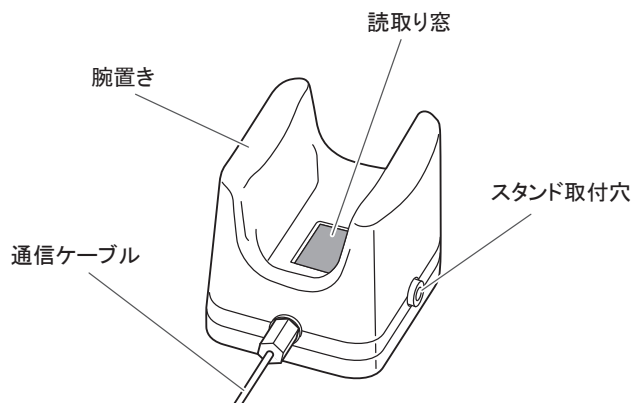


名称	機能
表示部	測定結果（尿量）や容器重量、エラーコードなどを表示します。
計量皿	採尿した容器をのせます。
容器切替スイッチ ^(※)	採尿した容器を、「採尿カップ」、「尿取りパッド」、「そのほか」の3種類から選択するためのスイッチです。押すたびに、容器識別 LED の点灯が切り替わります。
容器識別 LED	選択した容器を示すための LED です。容器切替スイッチで選択した容器の LED が点灯します。
違和感選択スイッチ ^(※)	採尿時に違和感（排尿痛等）があった場合に押すスイッチです。
違和感識別 LED	違和感の有無を示すための LED です。違和感選択スイッチを押すと点灯します。
電池カバー	電池ボックスのカバーです。
専用 AC アダプター用コネクタ	ウロダイアリーチェッカー専用 AC アダプター（以降、「専用 AC アダプター」と記載）を接続するためのコネクタです。
オプション通信ポート	専用バーコードリーダーなど、専用オプションを接続するための通信ポートです。
防水キャップ	本体を水洗いする際にコネクタ部からの水の侵入を防ぐために使用します。

※：容器切替スイッチと違和感選択スイッチは、非接触性のスイッチです。直接触らなくても、手指を 5mm 離れた位置まで近づけると反応します。また、押して操作することも可能です。
この取扱説明書ではスイッチ操作の説明において、「スイッチを押す」または「スイッチで選択する」と表現します。

ウロダイアリーチェッカー専用バーコードリーダー（オプション） （以降、「専用バーコードリーダー」と記載）

患者 ID バーコードから、患者情報を読み取るための専用バーコードリーダーです。測定結果を患者本人に紐付けて記録するために使用します。



名称	機能
読取り窓	患者 ID バーコードの読み取りに使用します。照明用 LED とカメラレンズで構成されています。
通信ケーブル	本体の通信ポートに接続する通信ケーブルです。
スタンド取付穴	専用バーコードリーダーをスタンドに固定する場合に使用するねじ穴（1/4 インチサイズ）です。
腕置き	患者 ID バーコードを読み取るとき、腕を置きます。腕置きは、取り外して水洗いや清掃ができます。

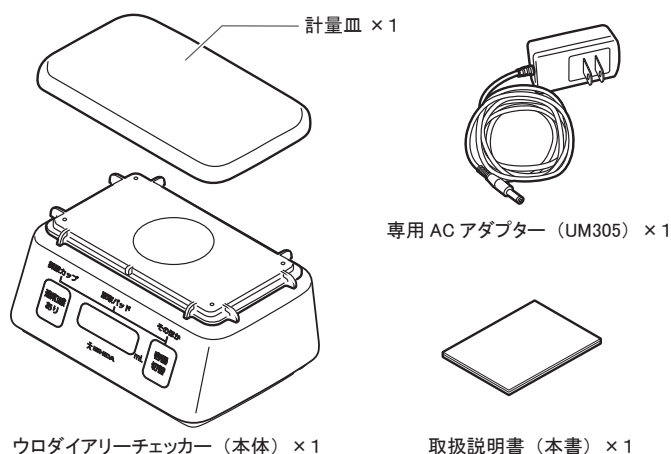
3

ウロダイアリー チェッカーの準備

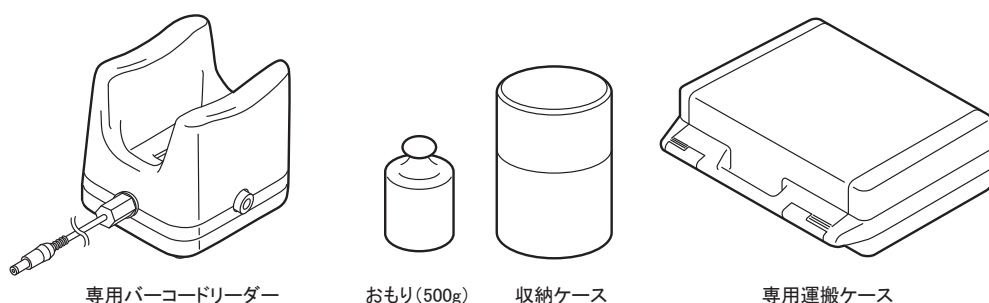
物品を確認する

付属品

以下の物品が揃っていることを確認してください。万一、欠品や破損がある場合は、弊社またはご購入先の販売業者までご連絡ください。



オプション (別売)



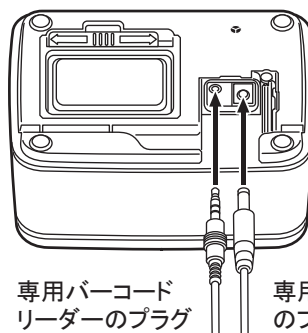
オプション品名	説明
専用バーコードリーダー	患者IDバーコードの読み取りに使用します。「専用バーコードリーダー (オプション)」☞ (p 5)
おもり	ウロダイアリーチェッカー本体に内蔵されている質量センサーの感度の確認に使用します。「メンテナンスモード」☞ (p 20) 使用しないときは、ケースに入れて保管してください。
ウロダイアリーチェッカー専用運搬ケース (以降、「専用運搬ケース」と記載)	ウロダイアリーチェッカーを在宅で運用する際など、ウロダイアリーチェッカーの運搬時に使用します。「在宅で使用する場合」☞ (p 21)

ウロダイアリーチェッカーを設置する

専用 AC アダプターで使用する

専用 AC アダプターで電源を供給する場合の設置について説明します。また、オプションの専用バーコードリーダーを併用する場合を例とします。

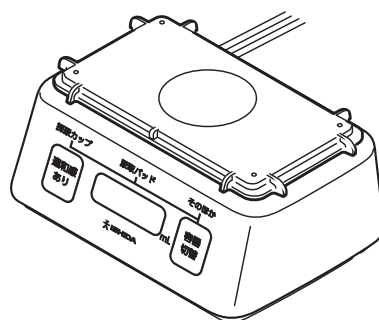
1. 専用 AC アダプターをコンセントから抜いた状態で、専用 AC アダプター、および専用バーコードリーダーのプラグを本体に接続します。



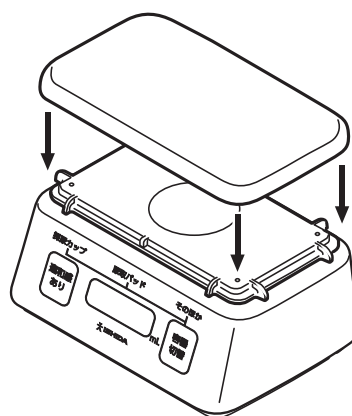
専用バーコード
リーダーのプラグ

専用ACアダプター
のプラグ

2. 本体を安定した水平な場所に設置します。



3. 計量皿をのせます。



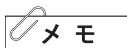
4. 専用 AC アダプターをコンセントに差し込みます。



本製品は乾電池による電源供給も用意していますが、専用バーコードリーダーを使用する場合は、必ず専用 AC アダプターで電源供給してください。

5. 操作パネルの表示、専用バーコードリーダーの読取り窓を確認します。

- ➡ 一定時間、表示部と LED が点灯したあと、待機状態（表示部消灯、全 LED 消灯）になります。
- ➡ 専用バーコードリーダーが正しく動作している場合、読取り窓の LED が点灯しています。



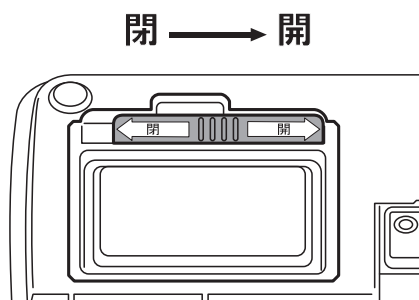
- ・ 本製品は、専用 AC アダプターおよび乾電池の抜き差しによって電源を ON/OFF します。何も操作しなければ待機状態（表示部消灯、全 LED 消灯）を継続し、電源は ON のままです。
- ・ 本製品の電源を OFF にする場合は、専用 AC アダプターおよび乾電池を抜いてください。

乾電池で使用する

乾電池で電源を供給する場合の設置について説明します。在宅で使用する場合、コンセントの有る無しに係わらず設置できるため、設置場所の幅が広がります。

1. 電池カバーのスライドを「開」方向に動かして電池カバーを開け、乾電池を入れます。

- ・ 乾電池は、LR6（単 3 形アルカリ乾電池）を 2 本使用してください。HR6（単 3 形充電池ニッケル水素乾電池）も使用できますが、動作時間が短くなります。

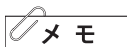


2. 本体を安定した水平な場所に設置します。

3. 計量皿をのせます。

4. 操作パネルの表示を確認します。

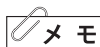
- ➡ 一定時間、表示部と LED が点灯したあと、待機状態（表示部消灯、全 LED 消灯）になります。



- ・ 本製品は、専用 AC アダプターおよび乾電池の抜き差しによって電源を ON/OFF します。何も操作しなければ待機状態（表示部消灯、全 LED 消灯）を継続し、電源は ON のままです。
- ・ 本製品の電源を OFF にする場合は、専用 AC アダプターおよび乾電池を抜いてください。

容器重量を登録する

ウロダイアリーチェッカーを使用するには、「採尿カップ」、「尿取りパッド」、「そのほか」の各容器について、重量を登録する必要があります。ここでは、容器重量の登録方法を説明します。



- 容器重量の登録時、表示部に表示される数値の単位は「g」になります。
- 容器重量の初期値はいずれの容器も「0」g です。正確な尿量計測を行うために、容器重量は必ず登録してください。
- 登録した容器重量を確認するには、専用アプリが必要です。(専用アプリ取扱説明書参照)

患者ごとの容器重量を登録する（専用バーコードリーダー使用）

専用バーコードリーダーを使用すると、患者ごとの容器重量を 20 名分登録できます。

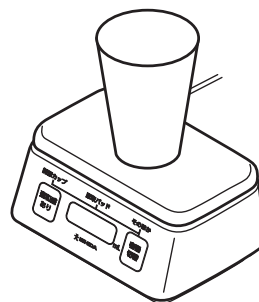
患者 ID と紐付けた容器重量を読み出して尿量計測する場合は、患者ごとに容器重量を登録してください。

4

1. 計量皿に何もものっていないことを確認します。

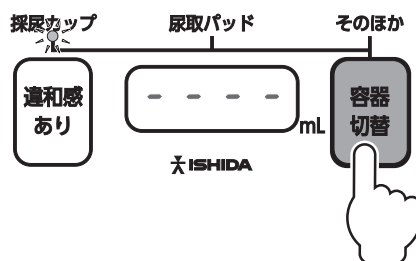
2. 登録したい空の容器を計量皿にのせます。

➡ 表示部に「----」が点滅します。



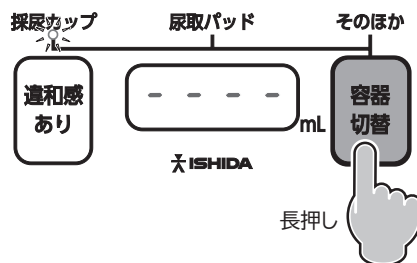
3. 容器切替スイッチで登録したい容器を選択します。

- 容器切替スイッチを押すたびに、容器識別 LED の点灯箇所が切り替わります。登録する容器の容器識別 LED を点灯させてください。



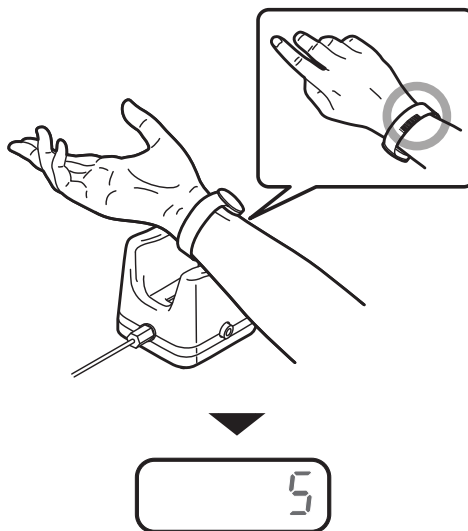
4. 容器切替スイッチを長押しします。

- ➡ 選択した容器の容器識別 LED が点滅します。



5. 専用バーコードリーダーで患者 ID バーコードを読み取ります。

- ➡ 読み取り完了のブザーが「ピッ」と鳴り、選択した容器の容器識別 LED が点灯します。
- ➡ 計測した容器重量（単位：g）が表示され、容器データの登録完了のブザーが「ピー」と鳴ります。
- ➡ 患者 ID 読み取りが一定時間されないと、読取待ちのブザーが「ピピピ」と繰り返し鳴ります。



20 名分を超えて登録を実施すると、使用履歴の日付が一番古い重量データが消去され、新しい重量データが登録されます。また、患者 ID は、数字とアルファベットの 20 桁以内の ID です。

6. 計量皿から対象物を取り除きます。

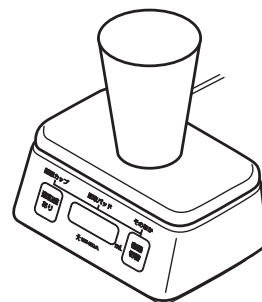
特定の容器重量を登録する（専用バーコードリーダー不使用）

専用バーコードリーダーを使用しない場合は、各容器に1件だけ容器重量を登録できます。

1. 計量皿に何ものっていないことを確認します。

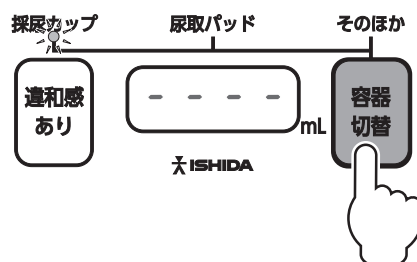
2. 登録したい空の容器を計量皿にのせます。

➡ 表示部に「----」が点滅します。



3. 容器切替スイッチで登録したい容器を選択します。

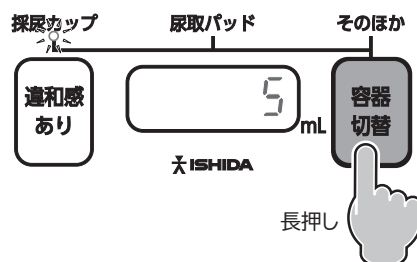
- 容器切替スイッチを押すたびに、容器識別 LED の点灯箇所が切り替わります。登録する容器の容器識別 LED を点灯させてください。



4. 容器切替スイッチを長押しします。

- ➡ 選択した容器の容器識別 LED が点滅します。
- ➡ 点滅後に指を離すと、容器データの登録完了のブザーが「ピー」と鳴ります。

メモ 容器切替スイッチは速やかに長押ししてください。一定時間内に長押ししないと、計測した容器重量は尿量データとして保存されます。



5. 計量皿から対象物を取り除きます。

計測する

容器に採尿された排尿量とその日時、および排尿時の違和感の有無を記録します。



メモ

- ・ 連続して計測する場合は、1分以上、間隔を開けてください。
- ・ 計測後、1分以内に本製品の電源を OFF にすると、計測したデータが保存されない場合があります。電源を OFF にする場合は、計測から 1分以上経過してから OFF にしてください。

患者 ID と紐付けて計測する（専用バーコードリーダー使用）

患者ごとに容器重量を登録した場合、専用バーコードリーダーで患者 ID を読み取り、登録した重量データを使用して尿量を計測します。

1. 計量皿に何ものっていないことを確認します。

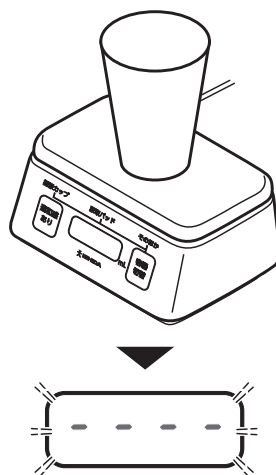
2. 計量皿に対象物（採尿した容器）をのせます。

- ➡ 患者 ID 読み取り待ちのブザーが「ピピピ」と繰り返し鳴ります。
- ➡ 表示部に「----」が点滅します。



メモ

「----」が点滅表示している間に次の手順を行ってください。次の手順を行う前に「----」が点灯表示した場合は対象物を計量皿にのせ直し、計測を再度行ってください。

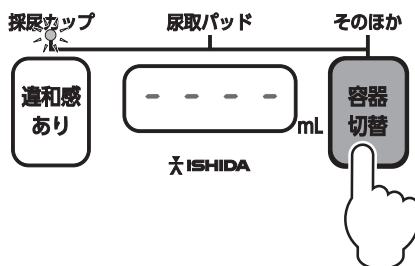


3. 使用している容器を容器切替スイッチで選択します。



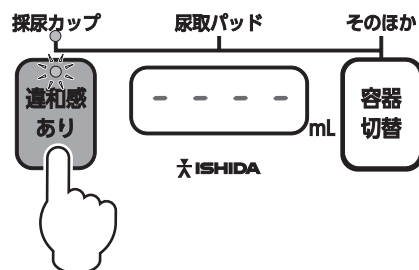
メモ

採尿に使用した容器と、容器切替スイッチで選択する容器の種類は、必ず同じものにしてください。異なった容器を選択すると、実際の尿量とは異なる数値になります。これは容器重量の差が尿量に加算または減算されるためです。



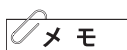
4. 違和感（排尿痛等）の有無を選択します。

- ・ 排尿時に違和感があった場合は、違和感選択スイッチを押してください。
- ➡ 違和感識別 LED が点灯します。
- ・ 排尿時に違和感がなかった場合は、違和感選択スイッチを押さないでください。
- ➡ 違和感識別 LED は消灯したままになります。
- ・ 誤って押した場合は、再度押して消灯させてください。

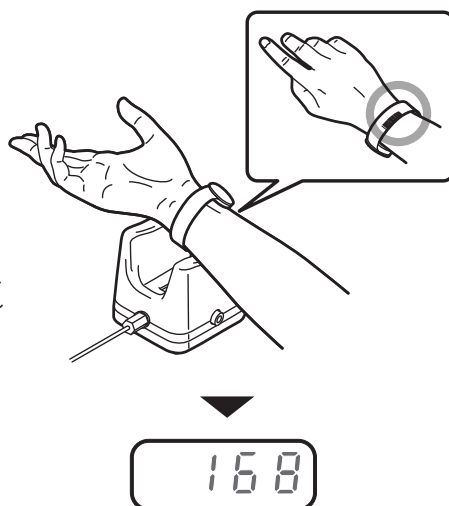


5. 専用バーコードリーダーで患者 ID バーコードを読み取ります。

- ➡ 読み取り完了のブザーが「ピッ」と鳴り、計測した尿量を表示します。
- ➡ 尿量データ保存完了のブザーが「ピー」と鳴ります。



一定時間内に患者 ID バーコードを読み取らないと、ブザーが「ピピピ」と繰り返し鳴り、読み取りを促します。



6. 計量皿から対象物を取り除きます。

本体のみで計測する（専用バーコードリーダー不使用）

専用バーコードリーダーを使用しない場合は、以下の手順で尿量を計測します。

1. 計量皿に何ものっていないことを確認します。

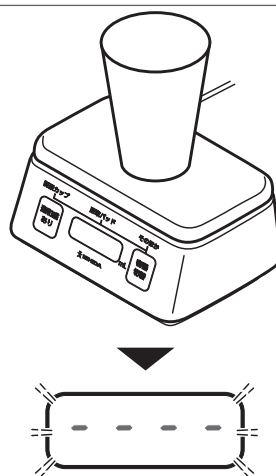
2. 計量皿に対象物（採尿した容器）をのせます。

➡ 表示部に「----」が点滅します。



メモ

点滅表示している間に次の手順を行ってください。次の手順を行う前に尿量が点灯表示した場合は対象物を計量皿にのせ直し、計測を再度行ってください。

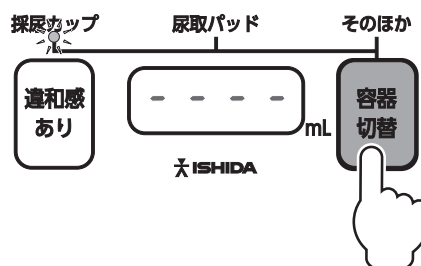


3. 使用している容器を容器切替スイッチで選択します。



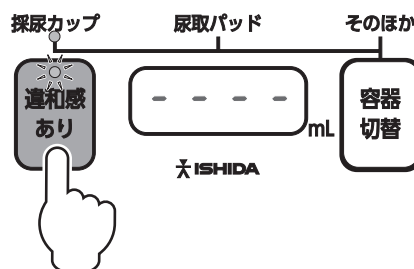
メモ

採尿に使用した容器と、容器切替スイッチで選択する容器の種類は、必ず同じものにしてください。異なった容器を選択すると、実際の尿量とは異なる数値になります。これは容器重量の差が尿量に加算または減算されるためです。



4. 違和感（排尿痛等）の有無を選択します。

- ・ 排尿時に違和感があった場合は、違和感選択スイッチを押してください。
- ➡ 違和感識別 LED が点灯します。
- ・ 排尿時に違和感がなかった場合は、違和感選択スイッチを押さないでください。
- ➡ 違和感識別 LED は消灯したままになります。
- ・ 誤って押した場合は、再度押して消灯させてください。



5. 測定完了のブザーが「ピー」となります。尿量表示後に計量皿から対象物を取り除きます。



使用後のお手入れ（清掃）

汚れた状態で使用すると、正しく動作しない場合や、故障の原因となる可能性があります。本製品を正しく、かつ安全にご使用いただくために、定期的に本体の清掃をしてください。



警告

清掃前に専用 AC アダプターを抜いてください。乾電池も外してください。感電による負傷の恐れがあります。

清掃後は十分に乾燥させてから使用してください。乾燥が不十分なまま使用した場合は、感電による負傷の恐れがあります。また、ショートするなど本製品が故障する可能性があります。

！ 注 記

オートクレーブなどの滅菌器は使用しないでください。故障の原因になります。

ドライヤーなどの乾燥機は使用しないでください。破損・故障の原因になります。

本体を水洗いする際は、防水キャップをきちんと取り付けてください。本体内部に液体が侵入し故障の原因になります。

使用可能な消毒液以外を用いた清掃は避けてください。破損や故障の原因になります。

エアゾール製品を使用しないでください。破損や故障の原因になります。

使用可能な消毒液

使用可能な消毒液（成分名）例は以下のとおりです。消毒液を使用する際は、各消毒液の添付文書の内容（希釈濃度等）に従ってください。

消毒液（成分名）	濃度
消毒用エタノール	76.9 ～ 81.4vol%
消毒用次亜塩素酸ナトリウム液	塩素濃度 0.02 ～ 0.1 %
クロルヘキシジングリコン酸塩	～ 5%
クレゾール石鹼液	～ 3%
ベンザルコニウム塩化物	～ 5%
イソプロピルアルコール	～ 17.2%

日常の清掃

ウロダイアリーチェッカー、およびバーコードリーダー（オプション）は、日常、以下のように清掃してください。清掃の際は、本製品から、専用 AC アダプター及び専用バーコードリーダーのプラグを抜きます。乾電池も外してください。

1. 消毒液を浸したガーゼなどをよく絞ってから全体を軽く拭きます。
2. 水またはぬるま湯を浸してよく絞ったガーゼ等で、消毒液を拭き取ります。
3. 乾いた柔らかい布等で水気をよく拭き取ります。

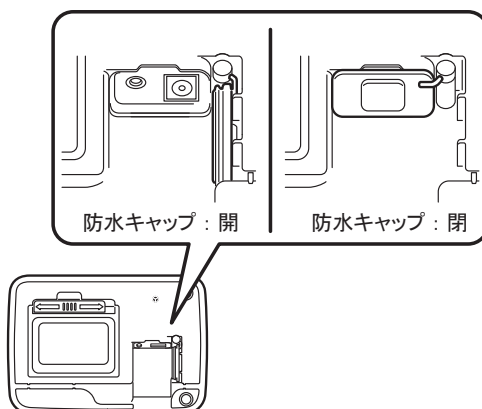
汚れがひどい場合

本体の水洗い

1. 本製品から、専用 AC アダプターおよび専用バーコードリーダーのプラグを抜きます。乾電池も外してください。
2. 計量皿を取り外します。
3. 底面のプラグ差し込み口にある防水キャップを閉じます。

！注 記

防水キャップが正しく閉じられていることを確認してください。不完全な閉じ方になっていると内部に浸水し、故障の原因となります。



4. 本体と計量皿を水洗いします。
5. 乾いた柔らかい布等で水気をよく拭き取ります。

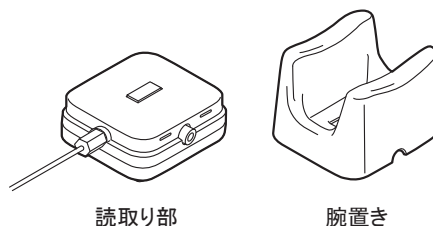
専用バーコードリーダーの水洗い

！注記

- ・読み取り窓に傷がつないようにご注意ください。傷がつくとバーコードの読み取りができなくなります。
- ・清掃後は十分に水気を拭き取ってから使用を開始してください。通信ケーブルのプラグが濡れたまま接続すると故障の原因になります。

1. ウロダイアリーチェッカーから、通信ケーブルのプラグを抜きます。

2. 専用バーコードリーダーから、腕置きを外します。



3. 腕置きと読み取り部を水洗いします。

4. 乾いた柔らかい布等で水気をよく拭き取ります。

保管上の注意

保管条件

保管条件	補足事項
環境仕様を確認し、条件に適した場所で保管してください。 「一般仕様」☞ (p.24)	長時間使用せずに保管する場合は、本体から乾電池を抜いてください。乾電池の液漏れが起こり、目や皮膚に付着した場合は障害を負う危険や機器が故障する場合があります。

！ 注 記

日光や紫外線照射下に放置しないでください。外装が変色、変形、変質することがあります。

以下の場所には保管しないでください。誤作動や故障の原因となります。

- ・ 振動、塵埃、噴霧下、腐食性ガス等の多い場所
- ・ 気圧、温度、湿度、風通し、塩分、硫黄分を含んだ空気等により悪影響の生じる可能性のある場所
- ・ 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所

定期点検

安全に、より長くお使いいただくために、定期的に点検を実施してください。本製品外観に異常が認められない場合でも、内部が破損し、計測精度や各種警告・通知機能等の本製品のもつ機能や性能が得られない可能性がありますので、各点検で異常が認められた場合は直ちに使用を中止し、弊社またはご購入先の販売業者までご連絡ください。

定期点検の目安	定期点検は1カ月に1回を目安に行ってください。
---------	-------------------------

点検項目	点検内容	参照先
各部位の破損や汚れ	以下の部位に破損や汚れがないか確認し、薬液等が付着している場合は速やかに拭き取ります。 ・ ウロダイアリーチェッカー本体 ・ 計量皿 ・ 専用 AC アダプター ・ 専用バーコードリーダー（オプション）	「使用後のお手入れ（清掃）」☞（p 15）
質量センサー	メンテナンスモードにし、計量皿におもりをのせてください。表示がおもりの重さ 500g ± 25g かどうかを確認してください。もし範囲外の場合は、弊社またはご購入先の販売業者までご連絡ください。確認時は以下に注意してください。 ・ 水平な台に設置していること。 ・ 専用のおもり以外を使用しないこと。	「メンテナンスモード」☞（p 20）
現在時刻	メンテナンスモードにし、現在時刻を確認してください。時刻修正が必要な場合は、弊社またはご購入先の販売業者までご連絡ください。	「メンテナンスモード」☞（p 20）

メンテナンスモード

本製品の日時（内蔵時計）と質量センサーの感度をメンテナンスモードで確認します。1か月に1回を目安に確認を行い、正確な値になっていない場合は弊社またはご購入先の販売業者までご連絡ください。メンテナンスモードに移行するには、専用バーコードリーダー（オプション）が必要です。また、質量センサーの感度を確認するには、おもり（オプション）が必要です。

1. 計量皿に何ものっていないことを確認します。

2. メンテナンスモード QR コードを専用バーコードリーダーで読み取ります。

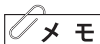
- ➡ 本製品がメンテナンスモードに移行します。
- ➡ 表示部に「年」、「月日」、「時刻」が順に表示されます。



メンテナンスモード QR コード

3. 現在の日時と合っているか、確認します。

- ➡ 日時を表示したあと、「0」を表示します。
- ・「0」が表示されない場合は違和感選択スイッチまたは容器切替スイッチを押して、「0」を表示させてください。



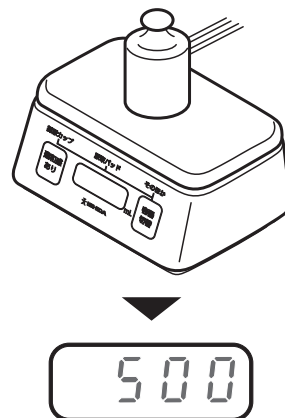
メモ

ウロダイアリーチェッカーの日時は、専用アプリを使用している PC の日時と連動します。現在の日時が合っていない場合は PC の日時を確認し、現在の日時に合わせてください。それでも正確な日時にならない場合は、弊社またはご購入先の販売業者までご連絡ください。



4. おもり（オプション）を計量皿にのせます。

- ➡ 表示部には、おもりの重さ「500」g が表示されます。
- ➡ おもり（オプション）の重さが「500 ± 25」g 以外になる場合は、弊社またはご購入先の販売業者までご連絡ください。



5. おもりを下ろして、メンテナンスモード QR コードを専用バーコードリーダーで読み取ります。

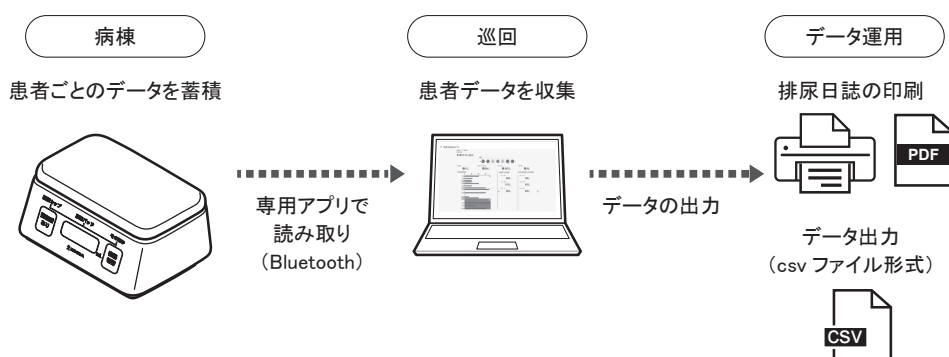
- ➡ メンテナンスモードが終了し、通常の状態に戻ります。

院内で使用する場合

患者ごとの排尿量データを本製品に蓄積します。

医療従事者は専用アプリを使用して本製品から排尿量データを読み取ります。

院内での使用例



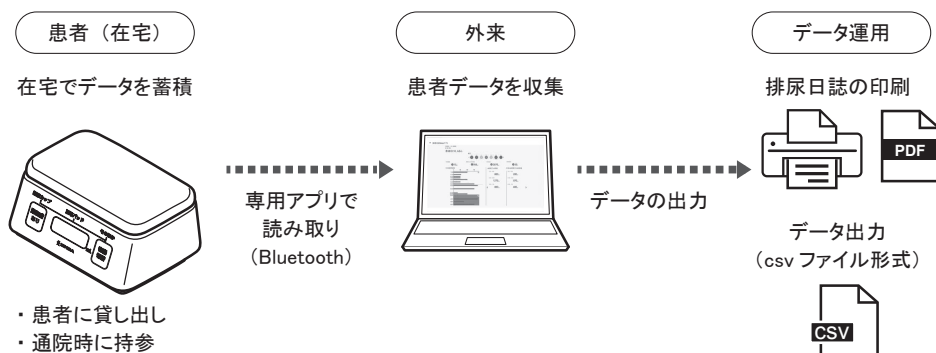
- ・ウロダイアリーチェッカー 1 台で複数患者のデータを計測する場合は、患者識別のため、患者 ID バーコードを読み取る専用バーコードリーダーが必要になります。
- ・読み取ったデータは、専用アプリで患者ごとに集計し、グラフ化など観察データとして扱えます。
- ・専用アプリから排尿日誌を印刷したり、データを csv ファイルで出力し、他のシステムと連携することもできます。

在宅で使用する場合

本製品を患者に貸し出し、在宅で尿量を計測してもらいます。

所定の期間が経過したら、本製品を通院時に持参してもらい、計測データを読み取ります。

在宅での使用例



貸し出し時の点検と説明

本製品を貸し出す際に、以下の点検と使い方の説明を実施してください。

点検・説明内容	対処
不要なデータは記録されていませんか？	本製品に、他の患者のデータが記録されていないことを確認してください。記録されている場合は消去してください。データの削除は、専用アプリで行います。(専用アプリ取扱説明書参照)
乾電池の残量は十分ですか？	なるべく新しい乾電池を使用してください。使用済みの場合も残量が十分であることを確認してください。
使い方の説明	計測される方に、使い方を十分に説明してください。また、疑問がないかを聞き取り、回答をしてください。

！ 注 記

- ・ 貸し出し時は乾電池を取り外してください。乾電池を入れたまま運搬すると、誤ったデータが保存される場合があります。
- ・ 本製品の運搬には、専用運搬ケース（オプション）のご使用を推奨します。

使用前の点検

本製品を貸し出す前、および使用する前に、以下の点検を実施してください。

点検・説明内容	対処
必要な物品は揃っていますか？	以下の物品が揃っていることを確認してください。 ・ ウロダイアリーチェッカー本体 ・ 計量皿 ・ 専用 AC アダプター、または乾電池（単 3 形アルカリ乾電池：2 本）
清潔な状態が保たれていますか？	汚れや薬品等の付着がある場合は清掃してください。 「使用後のお手入れ（清掃）」(p 15)
破損している箇所はありませんか？	使用に耐えない破損がある場合は、弊社またはご購入先の販売業者までご連絡ください。

故障かな？と思ったときは

本製品が正常に動作しないときは、以下に従って確認し、それぞれの対処法に従ってください。指示どおりに処置をしても回復しなかったり、異常が解決されない場合は、製品の故障が考えられます。直ちに使用を中止し、弊社またはご購入先の販売業者までご連絡ください。

状況	考えられる原因	対処方法
電源が入らない。計測結果が表示されない	専用 AC アダプターが抜けている	専用 AC アダプターが本体とコンセントに接続されていることを確認してください。
	電池残量が少なくなっている	新しい乾電池に交換してください。
	専用バーコードリーダーがプラグが抜けている	専用バーコードリーダーのプラグがきちんと挿入されていることを確認してください。
専用アプリと通信できない	通信エリアの圏外である	専用アプリが入っているデバイスを本製品の近くで使用してください。

エラーコード一覧

表示部にエラーコードが表示された場合は、以下の対処を実施してください。

画面表示	意味	対処
OVER	オーバーレンジ	測定範囲以上のものが計量皿にのっていないか確認してください。
UNDER	アンダーレンジ	計量皿を取り付けているか確認してください。
LO	電池残量が少ない	乾電池を交換してください。
ZERO	初期ゼロ点範囲外	計量皿を取り付けているか、計量皿に物がのっていないか、水平な場所に設置されているか、風が当たっていないかを確認してください。
E-04	ゼロ点範囲エラー (プラス)	計量皿に物が乗っていないことを確認して電源を入れてください。
E-05	ゼロ点範囲エラー (マイナス)	計量皿が取り付けられていることを確認して電源を入れてください。
E-06	バーコードエラー	専用バーコードリーダーのプラグが挿入されていることを確認してください。
E-10	データがいっぱい	データを抜き出し、削除してください。
E-11	おろし忘れ	測定後、計量皿に物がのっていないか確認してください。
E-12	非安定エラー	設置場所を変更してください。計量皿に物が触れていないか確認してください。
E-13	オプション通信エラー	オプション通信ポートの接続を確認してください。

！ 注 記

上記以外エラーコードが表示された場合は本製品の電源を OFF にし、弊社またはご購入先の販売業者までご連絡ください。

一般仕様

項目	内容	
	ウロダイアリーチェッカー	専用バーコードリーダー (オプション)
型式	UDC-50M	NPUDC50M
外形寸法（横 × 奥行 × 高さ）	155 × 109 × 68 mm	117 × 92 × 98 mm
本体質量	約 620g	約 235g
インターフェース	Bluetooth V4.2	
	オプション通信ポート DC5V UART 通信	
使用環境	温度：5 ～ 40℃	
	湿度：10 ～ 85％ RH（結露なきこと）	
輸送・保管環境	温度：-5 ～ 50℃	
	湿度：10 ～ 95％ RH（結露なきこと）	
保護等級	IPX5	
定格電源電圧	単相 AC100V (専用 AC アダプター使用時)	DC5V
	DC3V (単 3 アルカリ乾電池使用時)	
消費電力	6.0VA（専用 AC アダプター使用時）	
電撃に対する保護の形式による分類	AC 電源接続時：クラスⅡ機器	
	AC 電源不接続時：内部電源機器	
電撃に対する保護の程度による装着部の分類	BF 形	
尿量計測範囲	0 ～ 1000 m L	—
尿量計測精度	100mL 未満 5mL	
	100mL 以上 5%	
尿量計測最小表示	1 m L	
耐用期間	5 年（自己認証による）	
保存可能な計測データ数	300 件	—
容器重量の登録可能人数	20 名分 (21 人目以降は使用履歴日の古いデータが消去されます)	
対応コード	—	JAN コード標準 / 短縮 ITF コード CODE39 NW-7 QR コード

EMC 技術仕様

本製品は、医用電気機器の安全使用のために要求されている EMC（電磁両立性）規格 IEC 60601-1-2 : 2014/ JIS T 0601-1-2 : 2018 に適合している装置です。適合性に関する情報を次に記載しています。本製品は医用電気機器のため、EMC に関して特別な注意を要し、次に示す EMC 情報に従って設置および使用しなければなりません。

EMC（電磁両立性）とは

次の 2 つを満たす能力のことです。

- ・ 周囲の他の電子機器に、許容できない障害を与えるようなノイズを出さない。（エミッション）
- ・ 周囲の他の電子機器から出されるノイズ等、使用される場所の電磁環境に耐え、機器の機能を正常に発揮できる。（イミュニティ）

EMC（電磁両立性）に係わる技術的な説明

医用電気機器は EMC に関して特別な注意を必要とし、次に記載する EMC の情報に従って使用しなければなりません。

- ・ 携帯形 RF 通信機器（アンテナケーブル及び外部アンテナなどの周辺機器を含む）を、ウロダイアリーチェッカー UDC-50M のあらゆる部分から 30cm よりも近づけないでください。近づけた場合、機器の性能の低下が生じる可能性があります。
- ・ 付属品や別売品以外の機器などの使用により、エミッションが増加したり、イミュニティが低下することがあります。
- ・ 他の機器と隣接させたり積み重ねて本製品を使用しないでください。隣接させたり、積み重ねて使用する場合には、その配置での正常な動作を確認する必要があります。

■ ガイダンスおよび製造販売業者による宣言（電磁エミッション）

本製品は次に指定した電磁環境内で使用します。
本製品の使用者は、次のような環境内であることを、必ず確認してください。

エミッション試験	適合性	電磁環境 — ガイダンス
RF エミッション CISPR11	グループ 1	本製品は、内部機能のためだけに RF エネルギーを用いています。したがって、その RF エミッションは、非常に低く、近傍の電子機器に対して何らかの干渉を生じさせる可能性は少ないです。
RF エミッション CISPR11	Class B	
高調波エミッション IEC61000-3-2	Class A	
電圧変動 / フリッカエミッション IEC61000-3-3	適合	

■ ガイダンスおよび製造業者による宣言（電磁イミュニティ）（1）

本製品は、次に指定した電磁環境内での使用を意図しています。本製品の顧客または使用者は、このような環境内でそれを用いていることを確認してください。

イミュニティ試験	IEC60601 試験レベル	適合レベル	電磁環境 — ガイダンス
静電気放電（ESD） IEC61000-4-2	接触放電 ± 8kV 気中放電 ± 2kV、± 4kV、 ± 8kV、± 15kV	接触放電 ± 8kV 気中放電 ± 2kV、± 4kV、 ± 8kV、± 15kV	床は、木材、コンクリートまたはセラミックタイルであることが望まれます。床が合成材料で覆われている場合、相対湿度は、少なくとも 30% であることが望まれます。
電氣的ファストランジェント／バースト IEC61000-4-4	± 2 kV 電源ライン 繰り返し周波数 100 kHz	± 2 kV 電源ライン 繰り返し周波数 100 kHz	電源の品質は、標準的な商用または病院環境と同じであることが望まれます。
サージ IEC61000-4-5	± 0.5kV 及び ± 1kV ライン - ライン間	± 0.5kV 及び ± 1kV ライン - ライン間	電源の品質は、標準的な商用または病院環境と同じであることが望まれます。
電源入力ラインにおける電圧ディップ、短時間停電および電圧変化 IEC61000-4-11	電圧ディップ： 0% Ut 0.5 周期 位相角： 0°, 45°, 90°, 135°, 180°, 225°, 270°及び 315° 0 % Ut 1 周期 及び 70 % Ut 25/30 周期 単相 位相角 0° 瞬停： 0 % Ut 250/300 周期 単相 位相角 0°	電圧ディップ： 0% Ut 0.5 周期 位相角： 0°, 45°, 90°, 135°, 180°, 225°, 270°及び 315° 0 % Ut 1 周期 及び 70 % Ut 25/30 周期 単相 位相角 0° 瞬停： 0 % Ut 250/300 周期 単相 位相角 0°	電源の品質は、標準的な商用または病院環境と同じであることが望まれます。 本製品の使用者が、電源の停電中にも連続した稼働を要求する場合には、本製品を無停電電源または電池から電力供給することを推奨します。
電源周波数 (50/60 Hz) 磁界 IEC61000-4-8	30A/m	30A/m	電源周波数磁界は、標準的な商用または病院環境における一般的な場所と同レベルの特性をもつことが望まれます。

注記：Ut は、試験レベルを加える前の交流電源電圧です。

■ ガイダンスおよび製造業者による宣言（電磁イミュニティ）（2）

本製品は、次に指定した電磁環境内での使用を意図しています。本製品の顧客または使用者は、このような環境内でそれを用いていることを確認してください。

イミュニティ試験	IEC60601 試験レベル	適合レベル	電磁環境 — ガイダンス
伝導 RF IEC61000-4-6	3Vrms 150kHz to 80MHz	3Vrms 150kHz to 80MHz	携帯形および移動形 RF 通信機器は、ケーブルを含む本製品のいかなる部分に対しても、送信機の周波数に該当する方程式から計算した推奨分離距離より近づけて使用しないことが望まれます。 推奨分離距離 $d=6/E \cdot \sqrt{P}$ ここで P は、送信機製造業者によるワット (W) で表した送信機の最大定格出力電力であり、d は、メートル (m) で表した推奨分離距離であり、E はボルト / メートル (V/m) で表した放射電磁界レベルです。
放射 RF IEC61000-4-3	10V/m 80MHz to 2.7GHz 無線通信機器からの近接電磁界 a)	10V/m 80MHz to 2.7GHz 無線通信機器からの近接電磁界 a)	

注記 1 80MHz および 800MHz においては、高い周波数範囲を適用します。

注記 2 これからの指針は、すべての状況に対して適用するものではありません。建築物・物・人からの吸収および反射は電磁波の伝播に影響します。

a) 無線通信機器からの近接電磁界は下表のとおりです。

試験周波数 [MHz]	帯域 [MHz]	通信サービス	変調	最大電力 (W)	分離距離 (m)	イミュニティ試験レベル [V/m]
385	380-390	TETRA 400	Pulse modulation 18Hz	1.8	0.3	27
450	430-470	GMRS 460 FRS 460	FM $\pm$ 5kHz 1kHz sine	2	0.3	28
710	704-787	LTE Band 13, 17	Pulse modulation 217Hz	0.2	0.3	9
745						
780						
810	800-960	GSM 800/900 TETRA 800 iDEN820 CDMA850 LTE Band 5	Pulse modulation 18Hz	2	0.3	28
870						
930						
1720	1700-1990	GSM 1800 CDMA1900 GSM 1900 DECT LTE Band 1,3,4,25 UMTS	Pulse modulation 217Hz	2	0.3	28
1845						
1970						

試験周波数 [MHz]	帯域 [MHz]	通信サービス	変調	最大電力 (W)	分離距離 (m)	イミュニティ試験レベル [V/m]
2450	2400-2570	Bluetooth WLAN 802.11 b/g/n RFID 2450 LTE Band7	Pulse modulation 217Hz	2	0.3	28
5240	5100-5800	WLAN 802.11 a	Pulse modulation 217Hz	0.2	0.3	9
5500						
5785						

■ 携帯形および移動形 RF 通信機器と本製品との間の推奨分離距離

本製品は、放射 RF 妨害を管理している電磁環境内での使用を意図しています。本製品の顧客または利用者は、送信機の最大出力に基づく次に推奨している携帯形および移動形 RF 通信機器（送信機）と本製品との間の最小距離を維持することで、電磁障害を抑制するのに役立ちます。

送信機の最大定格出力電力 (W)	送信機の周波数に基づく分離距離 (m)
	80MHz ~ 2.7GHz $d = 0.6 \sqrt{P}$
0.01	0.06
0.1	0.19
1	0.6
10	1.9
100	6

上記にリストしていない最大定格出力電力の送信機に関しては、メートル (m) で表した推奨分離距離 d は、送信機の周波数に対応する方程式を用いて決定できます。ここで P は、送信機製造業者によるワット (W) で表した送信機の最大定格出力電力です。

注記 1 80MHz および 800MHz においては、分離距離は、高い周波数範囲が適用されます。

注記 2 これらの指針は、すべての状況に対して運用するものではありません。建築物・物・人からの吸収および反射は、電磁波の伝搬に影響します。

医療機器の類別・一般的名称

機械器具 21 内臓機能検査用器具

医療機器クラス分類：クラス I

一般的名称：再使用可能な尿流量計 (JMDN コード 36337000)

シンボル

マークや表示	説明
IPX5	JIS C 0920 に規定されている防水の保護等級を示すマークです。
	取扱説明書（本書）の参照を促すマークです。
	電源がクラス II の機器です。
	DC 電源で駆動します。
	本製品に施されている、外部からの電流流入に対する保護の程度（B 形装着部）を示すマークです。
	水濡れ防止
	取扱注意
	直射日光遮へい
	上側表示
	温度制限
	技術基準適合証明

メモ



所在地 京都市左京区聖護院蓮華蔵町60-1 〒606-8357 TEL.(075)762-0330

取扱店